編集主幹　岩田健太郎

感染症の現在を発信！［ジェイ・イデオ］

J-IDEO

Journal of Infectious Diseases Educational Omnibus

［奇数月10日発行］

微生物から公衆衛生まで，
まるごと詰まった
感染症総合誌！

2022年
定期購読
申込受付中！

中外医学社
http://www.chugaiigaku.jp/

J-IDEO は国内唯一の感染症総合誌です！

2017 年 3 月に創刊した「J-IDEO」はおかげさまで 5 年目を迎えることができました．30 コンテンツ以上の多彩な連載記事，感染症領域の brand-new な情報をお届けする HOT TOPIC，専門誌ならではのツボを突いた Special Topic などなど，「面白くて深い」感染症情報が今後も目白押し！　今まで感染症にあまり興味が持てなかった方，ディープな感染症マニア，医師はもちろんナース・薬剤師・臨床検査技師まで，「J-IDEO」はこれからもあらゆる医療者に開かれた国内唯一の感染症総合誌として走り続けます！

It's a J-IDEOism!

編集主幹　岩田健太郎

編集委員　岸田直樹　黒田浩一　坂本史衣　山田和範　山本　剛

感染症の雑誌は2年持たない，などというジンクスがある．いや，感染症のみならず，医学誌受難の時代である（雑誌そのものが受難の時代なのだが）．そんななか，2017 年に創刊した J-IDEO は4年間も読み続けられ，5年目に突入できた．これもすべて，編集委員の慧眼，編集諸氏の絶え間ない努力，執筆者の専門知とメッセージ伝達力の高さ，なによりも読者の皆様のおかげである．この場を借りて，皆様に御礼申し上げます．

この 4 年間で J-IDEO 周辺の環境は激変した．言うまでもなく COVID-19 の襲来だ．J-IDEO でも COVID-19 関連の論説や連載記事は多々出した．そのことが新しい読者を獲得した一要素であることは間違いないと思う．

J-IDEO では多種多様な執筆者に原稿をお願いしているが，全体的には「読みやすさ」を重要視している．それは，感染症専門家だけが感染症にコミットしているわけではない，という当たり前の理由からで，専門内外を問わず，さまざまな職種の読者にも気持ちよくコンテンツを読んでいただきたいとの我々の思いからでもある．専門誌なんだけど，専門家以外お断り，な雰囲気を作らない．ちょっとアクロバティックなこの二律背反に我々はこの 4 年間，腐心してきたと言ってもよい．

そのことで，COVID-19 の情報に飢えていた医療従事者以外の一般読者の方々も J-IDEO をご購入いただいたとも耳にしている．さすがに医療職以外の方が本誌を読むと少しハードルが高いような気もするが，それでもがんばれば読めない内容ではない，とも思っている．石川雅之先生の可愛らしくも人目を引く表紙にも助けられた．あれで，「一見さんお断り」感は激減したはずだ．

しかし，J-IDEO の真髄はもちろん，「読みやすさ」にはない．その真髄はコンテンツのオーセンティシティにこそある．オーセンティシティ．内容がしっかりとしていて，妥当性が高いということだ．

残念ながら，日本では本屋で「医学・健康」本のコーナーに行くと，内容がデタラメな書籍があまりにも多い．「健康雑誌」なるジャンルもインチキなコンテンツに満ちている（まじで）．インフォデミックの時代に，このようなデタラメな情報に惑わされ，自らの健康を害している方のなんと多いことか．しかも，そのようなインチキ本や雑誌を熱心に読むのが健康を希求している方なのだから，この問題は本当に深刻だ．これが新型コロナになると最悪で，「ノストラダムスの大予言」（古い？）レベルの流言飛語に満ちている．

J-IDEO においては内容の妥当性こそが命である．読みやすさを目指すあまり，適当な内容でお茶を濁したり，読者をミスリードしたりしない．読者の興味関心，あるいは欲望を満たすだけの扇情的なコンテンツも皆無である．楽観的な内容であれ，悲観的な内容であれ，その内容の妥当性こそが大事なのだ．事実から目を背けてはいけない，こんな時代であっても．

J-IDEO は，たとえ翻訳されて世界各国の感染症のプロが読んでも恥ずかしくない内容だと自負している．もちろん，どんな学問領域にも異論反論はあるだろうから「この見解には賛同しない」という専門家は一定数存在することだろう．J-IDEO には「Letter to the Editor」のシステムもあるから，異論反論はぜひ投稿して，活発な議論で学問領域の前進に寄与していただきたい．「内容はしっかりしてるけど，オチャラケた文体がムカつく．学術誌はもっと厳粛で権威的な書き方をすべきだ」という「べき論」もあるかもしれない．そういう方は上の文章を読み直してください．「ぶっちゃけ，イワタが気に入らないから，あんなものは読みたくない」という人もいるかもしれない．イワタのことが嫌いになっても，J-IDEO のことは嫌いにならないでください．

もちろん，J-IDEO は COVID 専門誌ではない．感染症という非常に広大な領域のすべての項目を網羅する総合誌である．スペシャルなのに，ジェネラルなのだ．読みたいコンテンツを読みたいところから，読者のニーズに合わせて自由にお読みいただきたい．あと，バックナンバーを取り出して読み直すのもオススメです．

これからも「読みやすいけど，役に立つ」J-IDEO をどうぞよろしくお願いします．

編集主幹　岩田健太郎

いわた・けんたろう
神戸大学大学院医学研究科微生物感染症学講座感染治療学教授

J-IDEO

編集委員のご紹介

錚々たる連載執筆陣を束ねる、6人の編集委員を紹介します。

◆編集主幹
岩田健太郎
神戸大学大学院医学研究科
微生物感染症学講座
感染治療学教授

◆編集
岸田直樹
感染症コンサルタント
北海道科学大学薬学部
客員教授

◆編集
黒田浩一
神戸市立医療センター
中央市民病院感染症科

◆編集
坂本史衣
聖路加国際病院QIセンター
感染管理マネジャー

◆編集
山田和範
中村記念病院薬剤部係長
北海道科学大学薬学部
客員教授

◆編集
山本　剛
神戸市立
西神戸医療センター
臨床検査技術部

読者の声

読者の皆様からもご好評をいただいております！

※本誌アンケートより抜粋

「非常に大きな学びを得られる雑誌だと思います．ケースカンファレンスが勉強になります．毎号の Special Topic も秀逸です」（勤務医）

「非常に勉強になりお世話になっています．現在は感染症を専門には診療を行っていませんが，この雑誌から沢山のことを学ばせて頂いています」（勤務医）

「とても素晴らしい書籍で，ずっと続いていくことを願っています．表紙のイラストも毎号楽しみです！」（勤務医）

「学生，研修医でもわかる内容があるのが良いです」（研修医）

「今月号もすごく楽しく読ませていただきました．様々な視点から書かれているので，新しい知識の習得や，復習などでき大変重宝しています」（薬剤師）

「年間購読をお願いしており，いつも届くのを楽しみにしています．セファゾリンの供給不足に対する対応など，現場が困っていることを早急に取り上げてもらいすごく有難いです」（薬剤師）

「ジャンプの発売を待つように，毎号楽しみにしています」（薬剤師）

「創刊号からの大ファンです．堅苦しさがなく，気楽に読める今までにないタイプの感染症雑誌です．これからもこの雰囲気で続けて頂きたいです」（検査技師）

連載30本 好評連載中の

感染症分野のエキスパートたちのコンテンツ

1. **あの手この手のASP!!**【枦 秀樹】
実際のASP活動のなかで、思考停止に陥ることなく、あの手この手で抗菌薬適正使用を推進した症例を解説します。

2. **意外と知らない!? 肝臓(きも)のキモ**【松尾裕央】
奥深きhepatologyの世界の基礎から最新の知見まで、実臨床に直結する話題をわかりやすく解説します。

3. **教えて感染症の病理**【砂川恵伸】
典型的病理像の解説や組織診断が有用だった症例など、感染症における病理診断について病理医以外の医療スタッフが知りたい内容を解説します。

4. **駆け出し感染症内科医のClinical Questions ―調べたことは共有して、みんなで賢くなろう―**
若手感染症内科医が臨床現場で感じた疑問を調べて共有する勉強会を「I-IDEO」誌上で開催。抗菌薬適正使用から最近の話題まで、リレー形式で解説します。

5. **感染症疫学入門ズームアウト!**【石金正裕】
敬遠しがちな〝疫学の考え方・使い方〟を、クイズや対話形式で実例を通してわかりやすく解説していきます。疫学の世界にズームアウト!

6. **基礎から臨床につなぐ薬剤耐性菌のハナシ**【西村 翔】
近年より注目度が高まりつつある「薬剤耐性菌」。本連載では基礎・臨床の両面からわかりやすく解説します。

7. **今日も明日もAMR対策**【具 芳明】
日本だけでなく世界中で大きな課題となっている薬剤耐性(AMR)対策について、その最前線からわかりやすくお伝えします。

8. **微生物レクチャーシリーズ グラム染色所見と培養結果からどう考える?**【黒田浩一】
微生物検査の基本であるグラム染色と培養検査の結果をどのように解釈し実臨床に役立てていくべきか、ミニレクチャー形式でわかりやすく解説します。

9. **感染症コンサルタントDr.岸田の挑戦**【岸田直樹】
感染症コンサルタントとして活躍中の岸田先生が、実際の事例を用いながら臨床感染症や感染対策のアプローチについて考察します。

10. **統計学のABC**【吉村健一】
統計学を初歩の初歩からコンパクトに解説。感染症関連の気になるトピックを取り上げつつ、日々の臨床に役立つ統計知識を紹介します。

11. **This wormy world ~ようこそ!寄生虫の世界へ~**【中村(内山)ふくみ】
寄生虫のエキスパート中村先生が寄生虫に関する基礎知識、興味深い症例や文献、タイムリーなトピックなどを幅広く紹介します。

12. **ちょっとだけ余計にがんばる病院の感染対策**【本田 仁、崎浜智子】
ICTメンバーがもう半歩ステップアップするための医療関連感染対策情報を紹介!本田先生&崎浜先生によるリレー連載です。

13. **新型コロナウイルス感染症 CLINICAL UPDATE**
多彩な病態を示すCOVID-19について、各診療科の視点から、現時点で明らかになっている知見を包括的に解説するリレー連載です。

14. **小児感染症ニュース**【日馬由貴】
日馬先生と一緒に、小児感染症に関する論文をみていこう!という連載です。ときどき脇道に逸れつつも、毎号楽しく解説していただきます。

15. **JOIS presents 知っておきたいがん+感染症**
Japanese Oncological Infection Society(JOIS)メンバーの監修による「がん+感染症」をテーマにしたリレー連載です。

9 アナザーストーリーズ 抗菌薬

10 チェックメイトへの道 抗菌薬選択 【山田和範】

11 抗菌薬相互作用整理BOX 【山田和範】

12 呼吸器感染症よもやま話 【倉原 優】

13 子どもと大人の感染症 【齋藤昭彦】

14 今月のカビ!! 【亀井克彦】

15 J-IDEO Journal club

海外の主要ジャーナルから感染症関連のトピックを取り上げ、エビデンスサマリーをまとめて解説します。毎号各施設の若手医師がリレー方式でレビューします。

カビの世界は奥深いものの、臨床医にはとっつきにくい存在。CTや検査値の所見などもまじえ、臨床医が気になる最新情報を厳選して紹介します。

「子どもは大人のミニチュアではない」といわれるように、小児感染症の世界には大人とは異なる難しさ、面白さがあります。齋藤先生がその魅力について語ります。

ブログ「呼吸器内科医」(http://pulmonary.exblog.jp/)や『本当にあった医学論文』でおなじみの倉原先生が紡ぐ、寝ころんで読める呼吸器感染症コラムです。

抗菌薬治療を実施するうえであまり影響しない相互作用から、注意しなければいけない相互作用まで、重要性と臨床で出会う頻度を軸に☆評価で解説します。

感染症の薬物治療について、薬剤師の視点で抗菌薬選択にあたり、いろいろ考えを巡らせながら提案するリアルを垣間見ていただくことを目指しています。

毎号ひとつの薬剤に関するトピックを取り上げ、その薬についての印象や思い入れなど、経験ベースでの知見を薬剤師ならではの視点から語るリレー連載です。

コンテンツ一覧（五十音順）

をまとめて読めるのは，「J-IDEO」だけ！

30 ますますTDM 【望月敬浩】

29 マイナスから始める性感染症診療 【谷崎隆太郎】

28 非〝専門家〟のためのHIV感染症との関わり方 【塚田訓久】

27 微生物検査 危機一髪！ 【山本 剛】

26 肺炎診療の最先端 【城下彰宏】

25 泣く子も黙る感染対策 【坂本史衣】

24 突破口 感染症診療の「難問」に答えはあるか 【岩田健太郎】

23 渡航医学B級情報局 【勝田吉彰】

薬剤師にとってますます重要度が高まるTDM。本連載では二人の薬剤師「やります君」と「できます君」の成長物語をまじえながらその基本や心得を解説します。

性や性感染症について、さまざまな偏見や誤った知識を払拭し、系統的に学び直すことができるよう、解説していただく連載です。

非〝専門家〟の「どこまで知っていればいいの?」、「どこまで手を出していいの?」、「ガイドラインにこう書いてあるけど意味がわからん」を解消し、HIV感染症にまつわるハードルを下げることを目標にしています。

感染症の診断時に有用な情報を提供してくれる微生物検査について、検査の特性やプロセス、結果を診療にどう活かすかについてわかりやすく解説します。

肺炎に関して臨床医がおさえておきたいポイントを最新の知見やトピックをまじえながら紹介する集中連載企画。

感染対策を推進するには、筋の通った上手な主張と現実に負けない熱意が必要。そんな「泣く子も黙る」感染対策担当者に役立つ最新情報をお届けします。

感染症の現場で棚上げされている難解な問題を総合内科医D先生が論理的かつ徹底的に解きほぐす！現時点におけるリアルな解決の糸口を示します。

渡航医学に関する旬なニュースを取り上げ、第一人者である筆者が詳しく解説。遠い海の向こうの話をぐっと身近に、日々の臨床に直結した話題として紹介します。

J-IDEO 各号のSpecial Topic

「J-IDEO」では通常の連載のほか，「Special Topic」として感染症をめぐる様々なテーマ・トピックを取り上げ，鋭くアプローチします．各領域の第一人者である気鋭のゲストライターの登場にご期待ください．

Vol.1 No.4

Vol.1 No.5

Vol.2 No.1

Vol.2 No.2

Vol.2 No.3

Vol.2 No.4

Vol.2 No.5

Vol.2 No.6

Vol.3 No.1

Vol.3 No.2

Vol.3 No.3

Vol.3 No.4

Vol.3 No.5

Vol.3 No.6

Vol.4 No.1

Vol.4 No.2

Vol.4 No.3

Vol.4 No.4

Vol.4 No.5

Vol.4 No.6

Vol.5 No.1

Vol.5 No.2

Vol.5 No.3

Vol.5 No.4

Vol.5 No.5

J-IDEO vs COVID-19!

「J-IDEO」は医療者に役立つ最新の新型コロナウイルス感染症関連情報を発信します

完全収束への道のりは未だ遠く，今後も医療者を悩ませ続けるであろう新型コロナウイルス（COVID-19）感染症．感染管理や治療をめぐるさまざまな議論，続々と現れる変異株，ワクチン普及を阻害するインフォデミック，医療現場の疲弊や公衆衛生上の諸問題など，2022年もコロナをめぐるトピックにこと欠かない一年になりそうです．
本誌は，引き続き新型コロナウイルスに関わるテーマを随時発信していきます．

◆2021年の新型コロナウイルス関連の記事◆

Special Topicほか

[2021年1月号]
緊急掲載
非専門家のための COVID-19 診療（入院管理）の提案
岩田健太郎

Special Topic
新型コロナウイルス感染症と神経筋合併症
下畑享良

[2021年3月号]
感染症カンファレンス実況中継
新型コロナウイルスへの対応～聖路加国際病院の1年間～
上原由紀，仁多寅彦，坂本史衣

[2021年5月号]
Special Topic
3波を堪えたプラチナ戦士たちのコロナ戦記
岡　秀昭　他

Special Interview
ワクチン接種の現状と展望　矢野晴美

[2021年9月号]
HOT TOPIC
新型コロナウイルスと抗体カクテル療法　岩田健太郎

[2021年11月号（予定）]
Special Topic
新型コロナウイルス感染症の変異ウイルス（仮）
峰 宗太郎

連載

突破口　感染症診療の「難問」に答えはあるか　岩田健太郎
[2021年1月号] ダイヤモンド・プリンセス号の感染拡大問題，revisited
[2021年5月号] ただちに医療体制が逼迫する状況にない，は正しいか
[2021年7月号] クラスター対策，「引き算」，そしてチームとコミュニケーション
[2021年9月号] 医療者はCOVIDワクチン打つべきなのか？

泣く子も黙る感染対策　坂本史衣
[2021年1月号] 新型コロナウイルス感染症対策1年間の経験則
[2021年3月号] 新型コロナウイルスの職業感染予防
[2021年5月号] 新人に伝える新型コロナ流行期の標準予防策

呼吸器感染症よもやま話　倉原　優
[2021年1月号] COVID-19におけるPoint-of-Care Ultrasound（POCUS）

感染症疫学入門ズームアウト！　石金正裕
「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染症疫学」シリーズ
[2021年1月号] クルーズ船ダイヤモンド・プリンセス号の疫学
[2021年3月号] 肺以外の病態や症状（肺外コロナ）
[2021年5月号] 再感染
[2021年7月号] 変異株を紐解く
[2021年9月号] ワクチン[1] ゲームチェンジャーになりうるか？

ちょっとだけ余計にがんばる病院の感染対策
[2021年1, 5, 9月号] 院内感染対策と新型コロナウイルス感染症　本田　仁
[2021年3月号] 台湾に学ぶCOVID-19 対応　崎浜智子
[2021年7月号] COVID-19 ワクチンの接種部位に関する最新の知見　崎浜智子

非“専門家”のためのHIV 感染症との関わり方　塚田訓久
[2021年5, 7月号] コロナ下のHIV 診療

新型コロナウイルス感染症CLINICAL UPDATE
[2021年7月号] COVID-19 vs. 心臓
水野　篤，野出孝一
[2021年9月号] COVID-19 vs. 凝血学的異常
山田真也，朝倉英策

今月のカビ！！　亀井克彦
[2021年7月号] インドの新型コロナ患者で“black fungus”による感染が多発．その原因は？

子どもと大人の感染症　齋藤昭彦
[2021年7月号] 新型コロナウイルスワクチンの接種方法―小児感染症専門医の視点から―
[2021年9月号] 新型コロナウイルスをめぐる新しい展開―若年者における心筋炎・心膜炎のリスク―

Dr. 岸田の感染症コンサルタントの挑戦　岸田直樹
[2021年7月号] 新型コロナウイルス感染症への札幌市での活動―札幌市のデータ：実効再生産数の計算，weekly analysis の作成―
[2021年9月号] 新型コロナウイルス感染症での札幌市での活動―コロナの次のフェーズを見据えた札幌市のデータを―

JOIS presents　知っておきたいがん+感染症
[2021年9月号] COVID-19と抗がん薬物療法
中屋雄一郎，倉井華子

意外と知らない!?　肝臓のキモ　松尾裕央
[2021年9月号]【緊急企画】tocilizumabとHBV

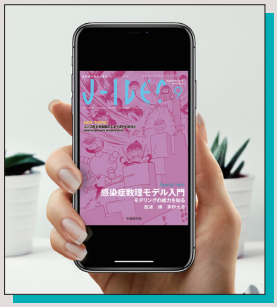
♦ J-IDEO 定期購読申し込み特典！♦

特典①

定期購読で申し込んだ場合のみ，割引料金が適用されます．

■毎号個別にご購入の場合……
本体価格 2,500 円×年間 6 冊刊行　➡税込 16,500 円

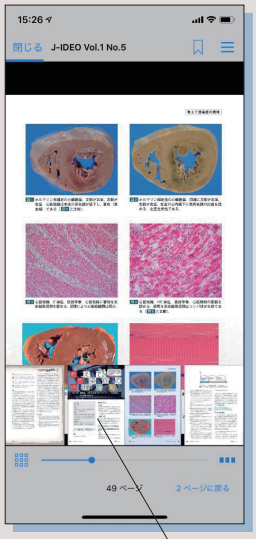
■定期購読お申し込みの場合……
年間 6 冊をご自宅，施設に直送（送料当社負担）　➡税込 **14,850 円**



特典②

本誌定期購読を申し込んでいただいた方全員に，
「**J-IDEO バックナンバー電子版**」をプレゼント！

2019 年 1 月号（Vol.3 No.1）～ 2021 年 11 月号（Vol.5 No.6）のバックナンバーを自由に閲覧可能です．
※閲覧期間は 2022 年 12 月末までとなります．



アプリ「中外 Bookshelf」をインストールすることで，ご自身の iPhone，iPad，Android 端末でバックナンバーを閲覧できます．

サムネイルで読みたいページに直接アクセスできます．

「検索」「しおり」「マイコンテンツ」など多彩な機能によりサクサク読めます！

■概要

誌名	**J-IDEO ジェイ・イデオ**
創刊	2017 年 3 月
発行形態	隔月刊（1 月，3 月，5 月，7 月，9 月，11 月に刊行）
製本	B5 判 150 頁
1 冊定価	税込 2,750 円
年間購読	2022 年度年間購読料　税込 14,850 円

中外医学社　〒162-0805 東京都新宿区矢来町62　TEL：03-3268-2701　FAX：03-3268-2722
http://www.chugaiigaku.jp/　E-mail：sales@chugaiigaku.jp［営業部］